



### 巡礼その五十三 奈良3

2020年12月20日

今回の旅行はJTBの奈良フリー4日間なので新幹線は選べない。12時のぞみである。10時にバスで渋谷へ、山手線で品川へ行く。目がショボショボするのでコンビニで目薬を買う。以前も来たPaulというパン屋でコーヒーを飲む。高いけれど美味しい。お昼ご飯は駅弁をやめて、とても美味しそうだったので、細いフランスパンにツナとレバーペーストを挟んだものとクロワッサンにビーフとサーモンを挟んだものを買う。乗車してすぐにパンを食べる。とても美味しい。いつも京都奈良間は近鉄特急で行くのだが今回はJRが指定されている。準急だったので6駅ぐらいの停車で3時ごろ奈良に着く。ホテルも大和ロイヤルホテルが指定されている。ここはJR奈良駅からすぐである。直ぐにチェックインして部屋に荷物を置き、タクシーで奈良国立博物館へ行く。建物が素晴らしい。ほとんど入場者がいない。こんなに空いている博物館は初めてである。仏像館の大仏はやはり素晴らしい。じっくり観れるのが良い。ミュージアムで買い物をして奈良公園を歩く。夕暮れ時で人はほとんどいない。さらに博物館はライトアップされ、とても綺麗な三日月が出ていて最高である。そしてあまり寒くはない。ゆっくり興福寺の東金堂の脇を抜けると新しくできた中金堂と五重塔だ。境内を見ながら東向き通りの方へ歩いていく。ベトナム料理屋があったので入る。奈良でベトナム料理もオツなものだ。なぜかといえば大仏開眼の時、取り仕切ったのはベトナムからの僧である。2200円のセットで生春巻、揚げ春巻き、パパイアのサラダ、海老の揚げ物、フランスパン、メインはブンボーフェ、妻はブンチャンを選ぶ。さらに緑豆のタピオカココナッツミルクがついてくるが、コーヒーはついていないのでベトナムコーヒーを別に頼む。三条通りからJR奈良駅に向かう。悲しいことに古いお店がどんどんなくなっている。道を広げ新しい建物が目立つ。途中「みむろモナカ」を買う。駅はライトアップされて美しい。コンビニで飲み物を買ってホテルに戻る。大和ロイヤルホテルは出来たばかりでおそらく外国からの観光客、特に中国を狙って作られたホテルであろう。私たちの部屋はとても狭いツインで息苦しい。しかし大浴場があるのが嬉しい。なんとタオルが備え付けである。ただ窓がないのが欠点である。9時に寝る。

12月21日

6時起床、7時出発。朝食はついていない。フロントで朝食はいくらか聞いたらなんと2500円もする。ビジネスホテルのようなところでは中途半端な料金である。駅に向かいモスバーガーでホットドッグを食べる。8時に日産レンタカーへ行きノートのハイブリッド車を借りる。とても良い車であるがバックミラーがバックモニターにもなるため、デジタル映像でとても見にくい。まず天理に向かう。目的の花園寺へ行くが門が閉まっているので町並みを写す。次は天理大学の参考館へ行く。天理のこの周辺はすごい。小学校から大学まで全てあり、整備が整っている。参考館の建物も天理独特の建築でそびえている。9時開館となっているが、コロナの影響で9時30分なので車の中で待つ。天理教の法被を着た若い人たちが掃除をしている。500円を払い入場する。民族関係の展示がすごい。特にパプアニューギニアには感動した。ガイドブックを買い天理市佐保庄町にある関の地蔵へ行く。旭寺跡観音石仏はわからなかった。近くの素戔鳴神社には面白い庚申塔があった。長岳寺五智堂はとても面白い。中央の柱に種字が4面に掘ってある。柳本石仏群を見て専行院へ行く。とても立派なお寺で奥さんがパンフレットを持ってきてくれた。中山念仏寺は立派な地蔵があったが、それは資料と違った。柳本墓地は長岳寺の隣にあり、とても大きく、歴史がありそうで古い石仏がかなりある。隣の山野辺の道トレイルセンターへ行き弥勒丘の石棺仏の場所を聞いたが、大変そうで時間もないので諦める。ちょうどお昼を過ぎたのでトレイルセンターで昼食にする。ちゃんとしたレストランで有頭海老フライ3本、サラダ、味噌汁、ご飯、アイスクリームがついて1800円、本格的な料理でとても美味しかった。エビ餅と豆餅を買う。長岳寺奥の院は大変であった。下から上がっていくと2kmほど山道を登っていかなければならないが、頂上からいける道がある。遠回りしてその道へ行く。途中とても細い道になりとても小さな村に出る。そこからさらに細い道を上がっていくが、今は通行止になっている。諦めて戻ろうとした時、軽トラのおじさんが他の道を教えてくれた。さらに遠回りになるが行ってみる。なんとか目的の山の頂上に着いた。長岳寺という道しるべがあったのでここから下っていく。いくら降りてもなかなかつかない。戻ることを考えるとこれ以上下れないので戻る。汗だくになって戻るとなんと少し先にもう一つ道しるべがありそちらには奥の院と書いてある。すぐに降りていく。ここもなかなか着かない。もう諦めようとした時に小さな看板があり奥の院800mと書いてある。やっと奥の院にある目的の不動明王石仏が見えた。もうへろへろになって戻る。時間がないのですぐ次の角柄庚申堂へ行く。ここも迷いおばさんに聞いてわかった。とても面白い庚申塔であった。次の大願寺は以前仏足石を見に行ったが、その少し上にある神社は気づかなかった。ここにお茶目庚申塔がある。とても可

愛く一見に値する。このあと室生寺へ行く予定であったが、冬は4時で終了なのでもう間に合わない。仕方がないので宇陀水分神社へ行き、平井大師山石仏群（石仏）を見る。道が細く急でとても怖い。平井大師山石仏群は四国八十八箇所を模した霊場で小山の中に安置されている。目的は入り口にある1番の釈迦如来石仏でここだけ見る。Uターンするのはとても怖い。最後は都祁水分神社でだいぶ暗くなってきた。以前も来たが本殿の左右にある狛犬は撮影しなかった。本殿は入れないのでとても細い隙間から狛犬を写す。6時にホテルへ戻り、すぐに大浴場へ行き、夕食を食べに駅前へ行く。めんどくさくなったので駅前のかすうどん屋で、ホルモン、カツポン酢、牛の土手焼き、最後にかすうどんを食べホテルに戻る。9時30分に寝る。

12月22日

6時起床、6時30分レンタカーで出発。まず一番遠い吉野口にある泉徳寺蔵王権現堂へ行く。奈良市内は空いていたが郊外は混んでいる。途中にはコンビニもないので吉野口を過ぎたところのファミマでファミチキとイクラのおにぎりを食べる。泉徳寺蔵王権現堂は急な階段を上ると仁王門があり左右に立派な木造の仁王が安置されている。門をくぐると右側に石仏がたくさん集まっている覆屋がある。そこにも蔵王権現があるが目的はその先のお堂の中にある。お堂には門がかかっているが鍵はかかっていない。門を開けて内部に入ると素晴らしい蔵王権現や役行者の石仏がある。遠いところを来てよかった。仁王門の上部には石造の天狗が見下ろしている。妻がトイレに行きたくなったので泉徳寺にある掘建小屋のようなトイレに行った。なんと内部は綺麗でウォシュレットで驚いていた。ここから飛鳥に向かう。飛鳥は何回も来ているが古墳は行ったことがなかった。今回はまずキトラ古墳に行く。飛鳥はいつ来ても楽しい。今日は晴天で空も青く雲はない。よく整備された駐車場に停め体験館へ行く。入場無料でとてもよくできた内部のレプリカがある。次に高松塚古墳へ行く。ここ壁画館は300円である。壁画が素晴らしい。次の飛鳥上宮寺は石舞台古墳の裏山の上にある。ここもすごい細い道を登っていく。対向車が来たら終わりである。とても怖い。無住で見晴らしが素晴らしい。宝篋印塔が素晴らしい。飛鳥坐神社は陽石（男根）が素晴らしいが、前は撮り忘れてしまった。目的の陽石は奥の摂社の裏にありわかり難い。ここでお守りとキーホルダーを買う。途中飛鳥民俗資料館へ行くが綱かけ神事の綱（灌頂縄）以外は何もない。久米寺は初めてである。とても立派な寺院で多宝塔が素晴らしい。石仏のあり、役行者もある。大和郡山の実相寺へ行き阿弥陀三尊石棺物をうつす。小屋の中に入っているので保存状態が良い。奈良市内に戻り、まずは白毫寺へ行く。とても雰囲気がある寺院で、前はあまり石仏を写していなかった。高台にあるの

で市内がよく見える。次は空海寺へ行く。東大寺正倉院の裏にあり、とても大きな地蔵十王石仏がある。次は最近凝っている奉安殿を見に奈良女子大へ行く。奈良女子大学は師範学校でとても古く立派な建物が残っている。まだ時間があるので秋篠寺へ行く。案の定誰もいない。静かな境内に小石を踏む音だけが響く。とても美しい建物だ。内部の仏像も素晴らしい。此处は土間になっていてまた外からの光もあまり入らないので素晴らしい雰囲気である。何より誰もいないのが良い。技芸天、梵天はもちろんだが、私は左隅にある五大力菩薩が大好きである。十二神将も良い。外には役行者石仏がある。寺の前の道は細いのに大型バスが通るのは昔と変わらない。相変わらず無線で交通整理をしている。仏願寺の石仏を見て最後に喜光寺へ行ったが門が閉まっていた。レンタカーを返しホテルへ戻りまた出てくるのは面倒なので近くの「松のや」という松屋のチェーン店でロースカツ定食を食べる。580円で美味しい。ホテルに戻り、風呂に入って寝る。

12月23日

6時起床、7時出発。

今日はバスでお寺を回る。一日乗車券をネットで買う。スマホで乗り降りできて便利である。7時45分のバスに乗るのでモスバーガーでモーニングセットを食べる。荷物は駅のコインロッカーに預ける。久しぶりのバスでウキウキする。唐招提寺が開くのが8時半なので門の前で15分待つ。当然一番でその後30分ぐらいは誰もこない。奈良で一番好きな寺院で修学旅行を思い出す。金堂でしばらく仏像を眺めている。そのほか境内を見て回り、歩いて薬師寺へ行く。薬師寺も5、6人の人しかいない。ちょうど本堂で朝の勤行の時間であった。般若心経を聞く。とてもいい声である。今はコロナが流行っているので普段は持っていない薬壺を薬師如来は持っている。さらに十六善神の深沙大将も安置してある。深沙大将は病気を癒し、魔事を遠ざけると言われているからだそうだ。バスに乗り県庁前まで行く。興福寺の国宝館を見るためである。何回見てもすごい。国立博物館より格が違う。国宝の数も違う。またバスに乗り奈良町へ行く。十輪院や庚申堂などを見る。1時になるのでバスで奈良駅へ行く。1時30分に奈良駅につき帰りの京都行きは2時45分だと思っていたので王将へ行きチャーハンを頼んだ。そこで切符を見てみたらなんと1時45分の京都行きであった。時計を見たら1時43分であった。もう間に合わないが京都の新幹線に間に合えば良い。まずは王将でお金を払ってキャンセルして出ようとしたら、王将の人がお金は良いと言ってくれた。次のJRに乗るよりも近鉄の特急に乗ればまだ間に合うのではないかと考え、すぐに駅へ行きタクシーを探したがいない。オロオロしている時にバスが来た。近鉄奈良に泊まるか聞くと

止まるという。すぐに飛び乗り近鉄の乗り場に直行して時刻表を見ると7分前であった。すぐに自動販売機で切符を買って乗り込む。二人でホッとして喜ぶもつかの間、私はあることに気づいた。それはスーツケースである。朝 JR のなら駅のコインロッカーに入れたままである。このまま京都には行けない。時間を見ると発車2分前である。二人ですぐに降りる。もう間に合わないので焦る必要はない。なぜ焦ったかといえば、JTB のツアーなので電車を変えることは出来ない。つまり正規料金で買わなければならないからである。せっかく安いツアーを見つけたのに普通の旅行と変わらなくなってしまった。バスで JR 奈良に戻りコインロッカーから荷物を出して次の電車で京都に向かう。幸い電車が20分も遅れていたのですぐに準急で京都に行き、一番近いのぞみの乗車券と特急券を買う。夕食の大阪寿司弁当と阿闍梨餅を買い東京へ。